



嵯峨嵐山地域の商店主ら
が作った「嵐山なび」

嵯峨嵐山の魅力満喫「なび」

京都市右京区、西京区の嵯峨嵐山地域の商店主らでつくる「嵯峨嵐山おもてなしビジョン推進協議会」が、地域の見どころなどを伝えるスマートフォン(多機能携帯電話)対応のアプリ「嵐山なび」を作った。最新の観光情報など

京都府内の観光団体などでつくる京都フラワーツーリズム(事務局・右京区)が提供

おもてなし協がアプリ 情報を随時更新

(山田修裕)

するアプリ「ご当地なび」に対応する形で作成した。

嵯峨嵐山地域の寺社などで咲いている季節の花や、バリアフリーのトイレや医療機関の場所、災害時被害状況や交通渋滞など多彩な情報を提供する。

情報は、同協議会の商店主やフラワーツーリズムに加盟する会員が随時更新していく予定。同協議会は「生きた情報を案内し、嵐山の魅力をもっと満喫してほしい」と話す。アプリは無料。スマートフォン端末から「ご当地なび」をダウンロードして「嵐山なび」を設定すれば利用できる。